平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	川越市駅周辺地区整備計画								継続
コード	24	－	58	－	01	－	00	予算事業名	三駅周辺地区整備計画
担当部署	都市計画部		都市計画課			都市計画担当		予算事業コード	会計 10　款 08　項 04　目 01

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合

法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	三駅周辺地区整備計画
方向性（節）	1節	都市の魅力の創出	個別計画等の名称	都市計画マスタープラン
施策	2	都市拠点の整備		
細施策	2	三駅連携強化の推進	当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	踏切道改良促進法			

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	三駅（川越駅、本川越駅、川越市駅）とその周辺の都市機能の充実を図るため、市民並びに駅利用者の利便性と安全性の向上、新たな土地利用の誘導、街の賑わいの創出、住環境の改善等の計画を策定する。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	三駅周辺地区の都市基盤整備を一体的に推進することで、駅機能の強化、交通の結節点機能強化及び円滑化を図る整備検討の中で、川越市駅周辺地区の利便性、交通安全性の向上に向けた踏切横断施設や駅前広場の整備計画の検討を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		0	1,197	2,495	1,520	1,515	
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A	0	1,134	2,310	1,386	1,124	1,500
人件費	B	0	2,935	2,568	1,834	2,935	2,935
総コスト（C＝A＋B）		0	4,069	4,878	3,220	4,059	4,435
正規職員（1年間の従事人数）		0.00人	0.40人	0.35人	0.25人	0.40人	0.40人
臨時職員（1年間の従事人数）		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担（＝C－D－E）		0	4,069	4,878	3,220	4,059	4,435

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動	関係企業・住民との協議回数の累計	回	0	1	4	3	3	27年度　3
	指標の定義・説明		川越市駅周辺地区整備に向けての関係企業・住民との打ち合わせ回数					
								年度
	指標の定義・説明							
								年度
	指標の定義・説明							
								年度
	指標の定義・説明							
指標に基づく評価	平成22年度から東武鉄道㈱と協議を継続するとともに課題の整理、概算事業費の算出を行い、整備の方向性を検討する必要がある。							

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題			

川越市駅周辺地区整備に向けて、鉄道事業者（東武鉄道㈱）との協議を行う中で抽出された整備課題や概算事業費の算出から今後は、関係機関との協議を行い、事業化への方向性を検討する。

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

竹ノ塚駅立体横断施設（東京都足立区）
豊四季駅自由通路（千葉県柏市）

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

事業の目的が達成されないため、まちづくり課題が残る。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			都市計画部				都市計画課	都市計画担当
事務事業名称			24	58	01	00	三駅周辺地区整備計画	
今後3年間の方向性	25年度	継　続	川越市駅周辺地区整備として、踏切横断施設及び駅前広場の概算工事費の算定等、事業化に向けた課題の整理を行う。					
	26年度	継　続						
	27年度	継　続						